



上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子



# 大船山

第 21 号

令和 6 年 3 月 21 日

ホームページ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>



## 成功の反対は失敗ではなく、「やらないこと」だ

校長 細江 幸次

今年度は上矢作っ子がこれまでにないくらい様々なことに挑戦して、多くの成果を挙げた年になりました。今月に入っても全校集会・児童集会の場で伝達表彰することが続いています。図画作品、作文・感想文、書道作品等のコンクール・コンテストやスポーツ各種イベント・大会に至る場において多くの上矢作っ子が自分の好きなこと・得意なことで力を発揮した成果です。成果の中には県大会や東海地区における大会、全国大会における成果報告もあり、本当にうれしい限りです。

先日のスピーチ集会では、あることを始めたすぐは失敗ばかりだったのが、それでもくじけることなく取り組み続けてきたことで試合・大会に出られるようになってきたこと、試合に出るようになったけれども負けてばかりで何度も悔しい思いをしてきたこと、それでも粘り強く練習を続けてきたことで優勝することができたこと、現在は自己ベストを目指してさらに頑張っていることについて話した上矢作っ子がいました。もう小学校の段階でそんな体験ができ、頑張り続けることのよさがわかっていることは今後の大きな財産になってくるはずですよ。おそらく、今年度何らかの成果を残した上矢作っ子もこれと似たような経験をしているのだらうと思います。

今回の題名の言葉「成功の反対は失敗ではなく、「やらないこと」だ。」は、サッカー日本女子代表監督の佐々木則夫氏の言葉です。今をときめく、将棋の藤井聡太さんも将棋を始めた頃は何度も負けて、くやしくて泣き出している映像を何度か見たことがあります。野球の大谷翔平さんは投手の生命線ともいわれるひじの手術を2度も行いましたが、それにめげることなく真摯に野球に取り組んでいることは多くの人が知るところです。

人間のやることですから失敗はつきものですよ。はじめからうまくできる人、成功し続ける人はいません。まずはやってみること、自分から積極的に挑戦することを新年度の具体的な取組として何かひとつ考えられるといいなと思います。

今年度も学校の教育活動に対して、保護者および地域の皆様に深いご理解と多大なるご協力をいただきましたことにお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。

### ご報告

昨年に続いてふるさと教育表彰優秀賞をいただきました。これはふるさと教育の取組について贈られるものです。今年度は本校のドローン教室と上矢作におけるドローンの有効活用について報告をしました。本校のドローン教室は他市町村、他地区にはない特徴的な取組となっています。



### 上矢作っ子の活躍

- \* 第16回大樹生命ヒーローズカップ カップトーナメント 優勝 豊田ラグビースクール (6年 片桐優太 所属)
- \* 恵那市小学生バレーボール交流大会王座決定戦 優勝 上矢作リトルバレー (小林幸永、片桐優太、長谷川瑛音、大島夏衣、太田舞、熊谷更加、後藤大樹、松田凌征)